

## CISPR/SCF/WG1 中間会議報告

日時、場所：2011年2月28日(月)～3月1日(火)、VDE/フランクフルト(ドイツ)

参加者：Kloska\_Conv.(独)、Huges\_C-Conv.(英)、Kampet氏(独)、IMQ(伊)、英サムスン、LG(韓)  
ダイソン(英)、Whirlpool(独)、森光氏、前川 他 計13名

### 審議結果

#### 1. CISPR14-1 に関して

1).以下の改定案についてDCが用意されることになった。(6月に回付される見込み)

①.記述と文書構成(目次)の見直し

過去の記述見直しネタと測定方法ど許容値の括り

②.放射妨害波測定時のEUT配置(一般、エアコン、掃除機)

シアトル会議後見直された案について審議した。基本的にはCISPR16-2-3を引用して独自の部分を盛り込む。

③.バッテリー充電器への要求事項の見直し

テレコムポートの規格導入に伴い、補助端子の雑音端子電圧が削除される。

④.測定の不確かさ

⑤.IEC61000-4-22(FARでの放射妨害波測定)の引用規格への追加

#### 2).RMS-AVの導入

CISPR13における課題が解決されるまで審議を凍結し、本検波方法導入に関する意見照会はないことになった。

#### 3).測定の不確かさ

ドイツより用意された案を確認したところ、ベースとなる文章に誤り(=測定の不確かさを規格への適合性判断に用いている。)があるため、CISPR幹事であるColclough氏(英)がCISPRへ課題提起することになった。

#### 4).テレコムポートの規格導入：ドイツ提案

機器外部との通信機能を有する機器のために、CISPR22のテレコムポートの規格を導入する案。電気柵の電源端子を残して補助端子の雑音端子電圧が削除される。

#### 5).CISPR14-1/Ed5\_A2のFDIS発行遅れ(発行期限：4月)について

CISPR幹事であるColclough氏(英)がFDIS発行について督促状を出すことになった。

#### 2.CISPR14-2 に関して

ESD(静電気放電)試験方法に関する記述修正案のCDがコンビナーによって用意されていたが、これに今回審議されたエディトリアル記述修正(=参照規格、脱字)案が追加されて1つのCDとして発行されることになった。

#### 3.スマートグリッドに関して ~150kHz以下の規格~

CISPR規格の目的から外れることから、現時点ではCISPR14-1について何もしないこととなった。また、SC-Sで一般的な考え方(General Policy)が示されるまでは議論すべきではない。との結論に至った。

以上